

【対象事業活動の実績に関する評価】

令和5年度 事業経営評価

団体名	(株) 大阪港トランスポートシステム	所管所属名	大阪港湾局
-----	--------------------	-------	-------

中期目標	(1) 当該外郭団体の事業経営を通じて達成しようとする本市の行政目的又は施策の具体的な内容
	本市臨海部における交通需要に対応する輸送手段となる鉄道路線として整備する北港テクノポート線のうち、2025年日本国際博覧会の会場となる夢洲地区への主要な輸送手段となる鉄道路線である南ルート部分を本市の計画にのっとった適切な時期までに確実に建設し開業させること
	(2) 中期目標期間
	令和2年9月1日から令和7年3月31日
中期目標	(3) 中期目標の期間終了時において、(1)の行政目的又は施策によって実現しようとしている状態
	北港テクノポート線のうち、南ルート部分を中期目標期間終了時まで、開業している状態

外郭団体の自己評価	当該事業年度の指標及び目標に基づく評価を踏まえた団体の総合的な評価	
	各種申請に係る手続は予定どおり進んでおり、最終目標の達成に向け問題がないと見込んでいる。設計・工事についても各々の分野における作業時期の前後はあるものの全体の工程において調整を着実にやっている。また、建設費も物価高の影響が一部あるものの、効率的な発注を進めた結果、出来高の状況等から当初計画の範囲内に収まる見込みであり、工事全体の工程は順調に進んでいる。結果、中期目標に設定した令和6年度中の開業を達成出来ると見込んでいる。	
	最終目標達成見込み	最終目標達成に向けた課題及び課題解消に向けた次年度以降の取組について
	ア	最終目標の達成に向け、国・大阪市・鉄道運行者(OsakaMetro)との協議を重ね、所定の申請手続を適切な時期に行い、本体工事の完成及び開業に向け進めていく。
当該事業年度の評価	当該事業年度の指標及び目標に基づく評価並びに当該評価を踏まえた本市の総合的な評価	
	各種申請に係る手続については、令和5年度に申請時期を一部見直し、団体の中期計画も見直したうえで、適切な時期に所定の手続を行っており、最終目標の達成に向け問題ないものと見込んでいる。また、設計・工事についても各々の分野における作業時期の前後はあるものの全体の工程において調整を着実にやっている。また、建設費も物価高の影響が一部あるものの、効率的な発注を進めた結果、出来高の状況等から当初計画の範囲内に収まる見込みである。その裏付けとなる工事の進捗状況や関係先との協議進捗状況の内容については、資料にて確認できており、問題ないものと考えている。	
	助言等及び講ずるよう求める措置の内容【大阪市外郭団体等への関与及び監理事項等に関する条例第7条第5項】（※必要な場合のみ）	

●最終年度の前年度【中期目標の期間を通じた評価】

外郭団体の自己評価 中期目標の期間を通じた評価 市の評価	中期計画に定めた指標及び目標に基づく評価を踏まえた 団体 の総合的な評価
	目標達成に向け、国・大阪府・大阪市・鉄道運行者(OsakaMetro)と協議を重ね、所定の手続を適切な時期に行うとともに、効率的な工事発注及び全体工程の調整を着実にを行い、中期目標に定める令和6年度中の開業に向け順調に進んでいる。
	中期計画に定めた指標及び目標に基づく評価並びに当該評価を踏まえた 本市 の総合的な評価
	各種申請に係る手続については、国等関係先と協議を重ねたうえで、令和5年度に申請時期を一部見直し、団体の中期計画も見直したうえで、適切な時期に所定の手続を行っている。 また、設計・工事についても効率的な発注を行うとともに全体工程の調整を着実に行った結果、中期目標に定める令和6年度中の開業に向け順調に進む見込みである。 北港テクノポート線南ルート部分を期間内に確実に開業できるよう取り組まれない。
	助言等及び講ずるよう求める措置の内容【大阪市外郭団体等への関与及び監理事項等に関する条例第7条第5項】（※必要な場合のみ）

対象事業活動の実績に関する評価(事業活動に関する事項)

取組一	(※分野ごとの評価)
中期計画	団体が 中期計画期間中 に行政目標達成に向けて取り組む具体的な内容
	大阪臨海部活性化に向けた施策を支える鉄道事業の推進 ・大阪市及び鉄道運行者と協力し、北港テクノポート線のうちの南ルート部分（コスモスクエア～夢洲間）の2024年度開業に向けた鉄道施設の整備 ・鉄道整備に係る安定・確実な資金の調達、返済計画の策定

年度計画達成状況	【計画】 団体が 当該事業年度 に取り組む具体的な内容	【実績】 団体が 当該事業年度 に取り組んだ具体的な内容
	【鉄道事業法】 鉄道事業許可関係 ・事業基本計画等の変更に係る申請、鉄道運行者の事業許可に係る申請への協力 … 最適な申請時期や申請書類の詳細について、国と引き続き協議を重ね、2023年度中に事業基本計画変更申請及び線路使用条件申請を行う。 施行認可関係 … 開業に向けた関係先との協議及び各種手続きを進める。 【設計・工事】 インフラ外（OTS整備） ・詳細設計及び工事 … 2024年度内の開業に向けインフラ外工事を進める。	【鉄道事業法】 北港テクノポート線南ルートの建設にあわせ2020年2月に作成したスケジュールを基に、当社及び鉄道運行者(OsakaMetro)が行う各種申請について国と協議を重ね、当社については2023年8月に「事業基本計画等」の変更認可を申請し2023年12月に認可を得た。 また、鉄道運行者(OsakaMetro)についても同じく2023年8月に「2種事業」の許可を申請し2023年12月に許可を得た。 今後、当社は2023年度内に「線路使用条件」の認可を申請し認可を得る予定である。鉄道運行者(OsakaMetro)については当社の「線路使用条件」の認可後に「運賃」の認可を申請し、2024年上半年期までに認可を得る予定である。 【設計・工事】 インフラ外工事については、発注の効率化を図るため、2022年度から2023年度に繰越した材料を予定どおり調達できたほか、JRTTからの借入時期も具体化する等、2024年度内の開業に向け順調に工事が進んでいる。

指標 I	建設費をベースとした事業進捗率					
	※本指標について、建設費は事業年度単位で管理していることから、暦年での評価が困難なため、事業年度単位で評価する。					
	R2	R3	R4	R5	R6【最終】	
目標値	/	1.30%	12.10%	24.60%	100%	/
実績値	/	1.30%	4.60%	25.90%	/	/
当該年度の目標達成状況	a (i)	【達成状況】 a: 目標達成: (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった b: 目標未達成: (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった				

外郭団体の自己評価	指標の達成状況	A	A: 指標全部達成 B: 指標全部未達成 C: 指標一部未達成	中期計画に対する進捗状況【当該事業年度】	ア	ア: 「順調」 イ: 「遅れあり」 ウ: 「計画の見直し必要」
	当該事業年度の達成状況について					
	各種申請に係る手続きは予定どおり進んでおり、最終目標の達成に向け問題がないと見込んでいる。 設計・工事については、各々の分野における作業時期の前後はあるものの全体の工程において調整を着実にを行った結果、工事の進捗は順調である。 また、建設費も、物価高の影響が一部あるものの効率的な発注を進めたことにより、当初計画の範囲内に収まる見込みである。 結果、中期目標に設定した令和6年度中の開業を達成出来ると見込んでいる。					
	最終目標(中期計画)達成に向けた課題及び課題解消に向けた次年度以降の取組について					
	最終目標の達成に向け、国・大阪市・鉄道運行者(OsakaMetro)との協議を重ね、所定の申請手続を適切な時期に行い、本体工事の完成及び開業に向け進めていく。					

市の審査	中期計画に対する進捗状況【当該事業年度】	ア	ア: 「順調」 イ: 「遅れあり」 ウ: 「計画の見直し必要」	「様式1: 中期目標(3)」に対する取組の有効性	A	A: 有効であり、継続して推進 B: 有効でないため、取組を見直す
	「外郭団体の自己評価」に対する審査結果					
	指標の達成状況については、目標値を達成する見込みであり、また、設計・工事についても各々の分野における作業時期の前後はあるものの全体の工程を調整しながら実施している。また、建設費も物価高の影響が一部あるものの、効率的な発注を進めた結果、当初計画の範囲内に収まる見込みであり、工事全体の工程は順調であることから、団体の自己評価は妥当である。					
	「中期目標」達成の視点からみた審査結果					
	団体においては、中期目標の確実な達成に向け各種申請や建設を進めた結果、最終的な目標は達成できる見込みであり、その裏付けとなる工事の進捗状況や関係先との協議進捗状況の内容については工程表等各種資料にて確認できており、中期目標の達成に向けて順調に推移している。					

●最終年度の前年度【中期目標の期間を通じた評価】

中期計画達成状況	指標 I	建設費をベースとした事業進捗率											
		※本指標について、建設費は事業年度単位で管理していることから、暦年での評価が困難なため、事業年度単位で評価する。											
		R2	中期計画進捗率	R3	中期計画進捗率	R4	中期計画進捗率	R5	中期計画進捗率	R6【最終】	中期計画進捗率		
	目標値		%	1.30%	1.3%	12.10%	12.1%	24.60%	24.6%	100%	100.0%		
	実績値		%	1.30%	1.3%	4.60%	4.6%	25.90%	25.9%		%		
中期計画期間における具体的な取組内容（実績）													
<p>令和3年度は詳細設計や準備工事に着手し、目標どおりに推移した。令和4年度は発注の効率化を図るため、当年度に予定していた材料の調達時期等を令和5年度に繰越したことから、令和4年度の実績値は目標値を下回ったが、その大半が令和5年度にまとめて契約・納品されるため、令和5年度の実績は目標値に達し、最終目標の達成に向け順調に進んでいる。</p>													

外郭団体の自己評価	指標の達成状況	B	A：指標全部達成 B：指標全部未達成 C：指標一部未達成	中期計画に対する進捗状況【中期計画期間】	ア	ア：「順調」 イ：「遅れあり」 ウ：「計画の見直し必要」
	中期計画期間の達成状況について					
<p>目標達成に向け、各種申請に係る手続については、国・大阪府・大阪市・鉄道運行者(OsakaMetro)と協議を重ね、所定の手続を適切な時期に行うため、事業基本計画変更申請等の申請時期を一部見直した。 また、設計・工事についても効率的な発注を行うとともに、全体工程の調整を着実に進めた結果、当初計画通りに進捗しており、中期目標に定める令和6年度中の開業に向け順調に進んでいる。</p>						

市の審査	中期計画に対する進捗状況【中期計画期間】	ア	ア：「順調」 イ：「遅れあり」 ウ：「計画の見直し必要」	「様式1：中期目標(3)」に対する取組の有効性	A	A：有効であり、継続して推進 B：有効でないため、取組を見直す
	「外郭団体の自己評価」に対する審査結果					
	<p>各種申請に係る手続については、国等の関係先との協議を重ね、所定の手続を適切な時期に行うため、申請の時期を一部見直しており、また、設計・工事についても効率的な発注を行うとともに全体工程の調整を着実に進めた結果、当初計画通りに進捗しており、中期目標の達成に向けて順調に進む見込みであることから、団体の自己評価は妥当なものといえる。</p> <p>「中期目標」達成の視点からみた審査結果</p> <p>中期目標の達成に向けて、各種申請の適切な実施及びインフラ外工事の確実な進捗が重要となるが、各種申請については、国等の関係先との協議を重ね、令和5年度に申請時期を一部見直し、団体の中期計画も見直したうえで、適切な時期に所定の手続を行うこととしている。 また、インフラ外工事についても全体工程を調整し管理を行えていること、効率的な発注を行っているほか、JRTTからの借入時期も具体化しており、資金調達も行える見込みとなっている等、北港テクノポート線南ルートの令和6年度中の開業に向け順調に進捗しており、中期目標の達成に向けて順調に推移している。</p>					